

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践 法人全体の理念とホームの理念がきちんと明示化されることで、更にホーム全体の理念共有がなされ質の向上に繋げる。	法人全体の理念とグループホームの理念の共有がなされサービスの質の向上。	グループホームの理念である、その人らしい生き方ができるようにゆっくりと家族的な雰囲気の中で個々に合った生活を支援する。地域の交流サロンなどに参加して民生委員や地域住民の方と談話を通して、地域の住民になれるように支援する。	12ヶ月
2	2	事業所と地域とのつきあい 近隣住民の来訪や日常的な地域との相互交流でホームの活性化に繋げる。	事業所と地域のつきあいを密に行いグループホームの活性化。	法人全体の行事、夏祭り・敬老会・餅つき等、地域ぐるみで参加を呼びかけ、交流をはかる。相互交流においては、交流サロンや運動会に積極的に参加する。また交流サロンでは看護職員による血圧測定や健康相談を行っているので、継続支援する。	12ヶ月
3	5	市町村との連携 市の相談員の報告を生かしてもっと細かく個別の対応を図り利用者が主体的で活気ある生活に繋げる。	市の相談員からの報告を前向きに受け入れ利用者へのサービスの向上。	今年から新たな取り組みにて、市の相談員の派遣事業を受け入れている。今後、回を重ねることにより報告書の内容を活かし御利用者の個別対応をケアプランに反映する。	12ヶ月
4	10	運営に関する職員意見の反映 利用者・家族がもっと積極的に、そして気軽に意見を表現できるようにするための取り組み。	利用者・御家族・職員と共に支えあう関係作りを強化する。	御家族とコミュニケーションを図り、御家族が気軽に話したり相談することが出来る関係を作る。御家族が面会に来られたら近況報告し御家族と話し合い、意見が気軽に表現できるような関係になるように努力する。遠方等で面会に来られない御家族には月に一度管理者が電話して近況報告する。	12ヶ月
5	20	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないための取り組み。	個々の馴染みの人や場所との関係が途切れない支援の継続	利用者や御家族の希望に基づいて家族関係、知人関係など状況を見極めながら、利用者が落ち着き、穏やかに関係が継続できるように支援する。御家族に協力を得て墓参り等の外出が出来るように支援する。又正月、盆等自宅への外出時、馴染みの人と会う機会を作る事を推進支援をする。	12ヶ月
6	35	災害対策 災害時に備えて、昼夜問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制についての取り組み。	夜間を想定した消防訓練を行う。	次回の消防訓練では、新人職員を中心に夜間を想定した消防訓練を行い、スタッフ1名でも夜間対応できるようにする。	6ヶ月
7	40	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けなどの取り組み。	利用者の嗜好等を把握し食事を楽しみ、満足感が得られるように支援する。	テーブルが空いているときは利用者と一緒に、嗜好・本日の料理の事・昔食べていたおかず・作っていた料理など談話しながら楽しい雰囲気提供を支援する。	6ヶ月
8	49	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、外出の支援に努める。また普段行けない場所でも、利用者の希望を把握し家族や地域の方と協力しながら、外出が出来る取り組み。	一人ひとりの希望に沿った外出に対する取り組み。	日常的な散歩や買い物等の外出の他に、利用者に日常会話の中で行きたい所等を確認し希望を把握する。遠方や職員のみでの対応困難な場所は、家族や地域のボランティアの協力を得て、計画を作成し外出を支援する。	12ヶ月